死神の鎌は誰も切りたくないと愚かな願いを抱く

葉月羽音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

死神の鎌は誰も切りたくないと思かな願いを抱く

【コード】

N0731U

【作者名】

葉月羽音

【あらすじ】

全ては繋がり、全ては離れ、全ては繰り返される物語り

であるように書きたいと思っているタイトル集。

本格始動時に改訂します。

予告タイトル集

し 死神が終わりど始まりを告げる 「さあ、お休み。そしてお目覚め？」

に 滲んだ空が赤く染まる日 「世界が産声を上げて誕生し、そして死んだ。」

が 願望が全ての命を呑みこんだ 「もうこれ以上、亡くしたくないの。」

み 自ら声を上げ、震える拳を掲げて 「自己満足でもいい、僕は世界を救う！！」

の 望まれぬ運命に、一人震えるお姫様 「嫌、嫌よ、誰も私を置いて逝かないで！！」

か 神様は嘲笑いて采配を振るう 「愚かな人間に、幸福を差し上げよう。」

ま またしても世界は生贄を求め 「寂しいんだ、だから、一緒に死んで？」

は 始まりが終わり、終りが始まり 「そして、全てがまた終わる」

だ 誰かが言った、これは永久のループだと 「気付いたとてそれを止める術はないのだが」

れ 恋々と募らせたる凶器 「貴方^{アイ}だけを想ってる（早く気付いてこの刃に）」

も 戻ることにも進むことも許されない現実 「立ち止まることしか知らないから、」

き 君は誰の為に生きるの？と少年は唄い 「僕は僕の為にしか生きられないよ（と少年は謳い）」

り 輪廻は巡る、等しく全ての命の為に 「忘れないで、死と生の在るべき意味を」

た 魂の宴に死神達は踊り狂い 「さあ、狩りの時間だ！！」

く 苦しみは、いつも世界だけが味わうと思っているの？ 「痛みだけがいつも世界のものなの？」

な 泣いても乞うてももう、元には戻らない 「返してと叫ぶくらいなら、あの時どうして手を離れた？」

い いつか、また、会いましょう？ 「微笑んだ少女は、死神に首を差し出し」

と 遠い、とても遠い場所に、君と二人で、 「愛しあえれば、幸せだった」

お お父様、泣かないで？これで全てが救われるなら 「私は嬉しいのです、と（少女は泣いた）」

ろ ロマンはいつも腐ってしまふ 「腐らせるのはいつも人間だから性質が悪い」

か かくして世界はこう謳うのだ 「これ以上何を哀せと？」
な 涙の海は静かに心を沈め 「この想いすら沈めて浮き上がら

なくなればいいのに、」
ね 願いはなんだい？私が叶えてあげよう 「その命を、代償に

（死神は、笑う）
が ガラクタのように捨てられた死神の鎌 「これで、もう、命

を刈らなくて済むの？」
い 言わなくていいのよ、もう、それ以上 「哀を紡がないで

少女は死神の唇を塞ぐ）
を 美しいその瞳に溢れる涙を 「僕の命で満たしたいと願う心

を」
い 今という全てが、神様を狂わせた 「今ではなく過去であれ

ば狂わずにすんだのか？」
だ 抱きしめて、終焉の、その先まで 「君の腕の中で、私は笑

いたい」
く 狂おしいまでに死神は、ただ、その時を待つ 「いつかこの

両手で、君を愛せるその日まで、」

繋がりの無い話でありながら、全て繋がっていけるような、でも繋がりの無い一話一話の物語り になればいいな、と願いを込めて。タイトルは仮タイトル故にいつか修正。本文の本格始動は来週から。それまでに書き溜めておきます。

一番上から順番に一つ一つ書いていきます。出来れば連続更新目指したいところです。

テーマは「エンドレス」。全てが繰り返されるお話という展開でいければ、と。

そしていつもの如く登場人物に名前はつきません。つかぬままに文章量も少ないままで書いていく、やも。

以上、予告でした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0731u/>

死神の鎌は誰も切りたくないと愚かな願いを抱く

2011年10月9日04時27分発行